

創立 150 周年記念式典 式辞

校庭の梅のつばみも膨らむ本日、ここに「大阪市立伝法小学校創立 150 周年記念式典」を挙行いたしましたところ、ご多用の折にもかかわらず、記念事業委員会委員長越智様をはじめ、事業委員会の皆様、PTA・保護者の皆様にご列席賜り、5 年生・6 年生の児童と教職員とともに、このように開催させていただけたましたこと、心より厚く感謝申し上げます。

また、感染症対策の制限により、ご来賓のご招待は叶いませんでしたが、先ほど全校集会にて本校卒業生で歌手の徳永ゆうき様には、校歌斉唱の花を添えていただき、誠にありがとうございました。

さて、5 年生・6 年生の皆さんは、すでに調べてくれたと思いますが、本校のあゆみについてもう少し詳しく述べさせていただきます。

本校は、お侍さんが刀を差していた江戸時代が終わり、明治維新で全国に学校を作る制度「学制」ができた、そのわずか 7 か月後、明治 6 年 3 月 8 日に、当時の伝法村の先人のご尽力により、西念寺をお借りして創立されました。以来、明治・大正・昭和・平成・令和、五つの時代を、「強く 正しく 明るく」を校訓に、地道に歴史と伝統を築いてまいりました。

全国的にも今年度 150 周年を迎える学校が最も古く、大阪市内でも僅か十校あまりです。本校が市内有数の伝統校として今日続いている理由や、その価値について一緒に考えてみたいと思います。

まず校歌の歌詞にもあるように、伝法の地名は、仏教の伝来に関係しているとも言われています。古来より重要な港町で、戦国時代、織田信長は伝法に軍を置き、豊臣秀吉は鴉宮で船の安全をお祈りし、徳川家康は、京都の伏見と、大阪城、伝法、尼崎の四つの港を結ぶ船に朱印状を与えました。江戸時代、伝法と江戸（今の東京）を行き来した船は「伝法ぶね」と呼ばれ、酒樽などの荷物の積み出しが早いことで人気があり、のちに「樽廻船」と呼ばれました。昔の賑わいを想像すると、誇らしい気持ちになります。

そんな歴史と実力のある伝法の方々の教育に対する熱意により、本校はいち早く誕生しました。

その後、学校の場所は、西念寺から安楽寺、イカリソース工場跡地などを経て、今から百年前に、のちに住友金属となる日本鋳鋼所跡地の、この地に移転しました。学校名も、伝法尋常小学校、伝法尋常高等小学校、伝法国民学校などと変わりました。いずれも、伝法小学校の児童のために、地域の方々が、土地買収や校舎の設置などにご尽力くださいました。

校内には歴史の重みを感じる物が数多くあります。二宮尊徳像は、98 年前、昭和天皇が即位した記念に地域の方に頂いたものです。校長室には尋常高等小学校と書かれた金庫が 100 年後の今も現役で使われ、学校の歴史や移り変わりの記録である沿革史という冊子が保管されています。教室には、創立百周年に地域の皆様から頂戴した鏡が五十年間今も使われています。

皆さんの先輩方は、先程、お祝い集会でお話した台風や戦争の苦難にも、力を合わせて

乗り越えてくれました。特に、戦争で空襲がひどくなった頃、伝法の小学生の多くは、親と別れて愛媛県や滋賀県に集団疎開し、弱音を吐かずに頑張りました。

これが校長室にある沿革史です。昭和 20 年の記載をごく一部だけ抜粋して読みます。

2 月 19 日 集団疎開中の初等 6 年卒業児童一時帰校ス。

3 月 14 日 卒業式の予定なるも大阪市大空襲被害のため延期。被弾ありしも無事消火を得たり

6 月 1 日 大阪市大空襲。此花区大被害あり。校下の被害少なし、罹災民多数収容。北側校舎、新校舎、バラック校舎使用す。西島、朝日、梅香、春日出校下の罹災民収容。

6 月 3 日 校内外罹災民充満。混乱、不潔、甚だし。

6 月 7 日 空襲。本校無事。西九条罹災者本校に収容す。

6 月 26 日 大空襲。北三、高見町、被弾。被害大。本校窓ガラス大部分破損。そのほか人員校舎に被害なし。

想像を絶する状況だったと思いますが、淡々と記されています。

今の伝法小学校があるのは、本校を卒業された二万一千を超える先輩方や、保護者や地域の皆様方、歴任教職員の方々が、力を合わせて本校を守り、育て、私たちの世代へ繋いでこられたお蔭であります。心より敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

今ここにいる児童の皆さんは、その伝統を引き継ぎ、とても優しく友だち思いで、心豊かに育っています。勉強も一生懸命がんばる、自慢の子どもたちです。

いま、社会は急激に変化し、国際問題や感染症など予測困難な時代です。だからこそ、伝法小学校の皆さんは、先輩方の熱い期待や愛情をしっかり受け止め、伝法が長年培ってきた人と人との固い絆を受け継いで、これからの伝法を、ひいては日本を、世界をよりよくするために、「強く 正しく 明るく」時代を切り拓き、社会に貢献する決意をもってほしいと思います。

私ども教職員も、この節目に勤務できた喜びと誇り、そして、伝法の宝であるこの子たちを育てる責任の重さを胸に刻み、さらに本校の発展に尽くしてまいります。

結びになりましたが、改めて、創立 150 周年に際しご尽力賜りました事業委員会および歴代 P T A 会長会の皆様、P T A 役員・実行委員および保護者の皆様、本日も越しいただけなかった本校教育にご支援ご協力賜った全ての皆様に心より感謝申し上げますとともに、次は、創立二百周年に向けまして、引き続き、変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞とさせていただきます。

令和 5 年 2 月 2 5 日
大阪市立伝法小学校
校長 片岡 万喜雄